

## 令和5年度 船員安全・労働環境取組大賞

受賞者：太平洋沿海汽船株式会社

取組の名称：ヒヤリハット情報収集の促進・効率化

取組の概要：ヒヤリ・ハット情報報告の件数増加に向けた取組みの他、報告のあった内容の集計、整理、集約を自動化。

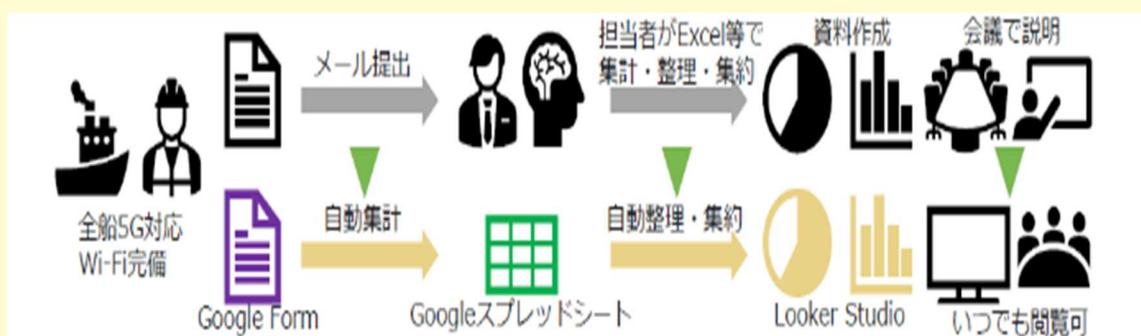
### 【具体的な取組の内容】

○ヒヤリ・ハット情報については、報告書作成・提出の負担がかかるほか、処分や不利益取扱いを連想させるなどの心理的ハードルがあり、情報収集に課題があったところ、船員のモチベーション高揚のために表彰・副賞制度※を導入。

※報告件数1位の船を表彰

1位～3位まで副賞として乗組員にカタログギフト等を贈呈  
年間予算30万円、上半期・下半期で15万円ずつを目安

○収集したヒヤリ・ハット情報については、これまで船員から提出のあった報告書を事務担当者がExcelに転記し、水平展開用に資料を作成していたところ、できるだけ費用をかけず、誰でも簡単に使える「Google Form」、「Google スプレッドシート」を活用することで、報告内容を自動で集計・整理・集約。情報収集はグラフ・一覧表で可視化。



### 【具体的な成果】

乗組員からも「モチベーションがあがる」等の声があり、好評である。  
ヒヤリ・ハット報告の件数も増加し、取組の効果がでている。

船員災害防止活動取組

ヒヤリハット情報収集の促進・効率化

---



## 目次

1. ヒヤリハット情報収集の課題
2. 促進のための取組
3. 効率化のための取組
4. 取組の成果と課題



# 1. ヒヤリハット情報収集の課題

課題	情報収集の労力	水平展開するまでのタイムラグ (即時性を高めたい)
背景	<ul style="list-style-type: none"><li>● 報告書を作成・提出する手間から乗組員に面倒・億劫に思われる。</li><li>● ケースによっては、自身の責任を問われかねない、あるいは醜態を晒さないかと不安に思われる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 担当者が報告書の情報（データ）を集計・整理・集約し、水平展開用の資料を作成する作業に、どうしても一定の時間を要する。</li></ul>
解決に向けた仮説	<ul style="list-style-type: none"><li>● 報告書を作成・提出してもらうには、乗組員のモチベーション（やる気）の高揚が必須だろう。</li><li>● 会社として報告書を積極的に提出することを奨励する姿勢を示す必要があるだろう。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● Excel以外のツールを用いて、情報の集計・整理・集約を効率化（自動化）できないだろうか。</li></ul>

## 2. 促進のための取組

キャンペーン名称	ヒヤリハットもっともっとキャンペーン（略称「ハットモット」）
期間	<ul style="list-style-type: none"><li>● 2021年度4Q（2022/1/1～2022/3/31）トライアル開始。</li><li>● トライアルの効果が認められたため、以降は半期ごとに2022年度上半期・2022年度下半期も実施し、現在もキャンペーンを継続中。</li></ul>
評価方法	船ごとにヒヤリハット報告書の件数を集計。
表彰・副賞	<ul style="list-style-type: none"><li>● 報告件数1位の船を表彰。</li><li>● 1位～3位まで副賞として乗組員にカタログギフト等を贈呈。</li><li>● 年間予算30万円、上半期・下半期で15万円ずつを目安。</li></ul>
企画の経緯・着想	<ul style="list-style-type: none"><li>● どうせお金をかけるなら、乗組員が楽しめるようなコンペ形式にしよう。</li><li>● 報告書をたくさん提出することで報酬が得られる＝やる気UPにつながるはず。</li></ul>
期待効果	<ul style="list-style-type: none"><li>□ ヒヤリハット報告書の件数増加。</li><li>□ KY活動の促進、安全意識の向上。</li><li>□ 船内コミュニケーションの活発化。</li></ul>



# 2. 促進のための取組

## ヒヤリハットキャンペーン「ハットモット」実施のお知らせ

先般の船舶安全管理委員会において、乗組員の皆様に KY 活動を意識的かつ活発に、より積極的にヒヤリハット報告に取り組んでいただくためのキャンペーンを企画することを提案し、今般 下記のとおりキャンペーンを実施することとなりました。

つきましては、船内に周知のうえ、ぜひ積極的に取り組んでいただきたくお願いします。

記

名称	ヒヤリハットもっともっとキャンペーン 2021 (略称「ハットモット」)
期間	初回 2022年1月1日～2022年3月31日 (3ヶ月間) 以降 半期ごとに実施予定
表彰	・報告件数 第一位の船を表彰する。
副賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告件数に応じて順位を定め、<b>下記に定める金額相当の食材</b>を本船の希望に応じて現品で授与する。 第一位 金5万円、第二位 金3万円、第三位 金1万円、第四位 無し</li> <li>・2022年3月31日までの全船の合計報告件数が55件以上となった場合、前項の副賞の金額に下記のとおり上乘せする。 第一位 +金2万円 (計7万円)、第二位 +金1万円 (計4万円) 第三位 +金1万円 (計2万円)、第四位 無し</li> </ul> <p>※希望する食材の選定にあたっては、 船内上長の意向が強く働かないよう、ご配慮下さい。 ※食材の授与方法については本船スケジュールを考慮のうえ、ご相談させて下さい。</p>
参加賞	・全乗組員に参加賞品を授与する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容に不備のあるものを除き、各船の報告件数を集計する。</li> <li>・セメント船よりも定員数の少ない昭豊丸は報告件数 x1.3 倍、小数点第一位を四捨五入で調整した数字を件数とする。</li> <li>・件数が同順の場合、海務課で報告内容について、わかりやすさ、原因の分析、改善案など、総合的に審査し優劣で順位を決する。</li> </ul>

以上

## 副賞: カタログギフトの贈呈



参加賞として  
オリジナルの  
クリアファイルも  
作ったよ!



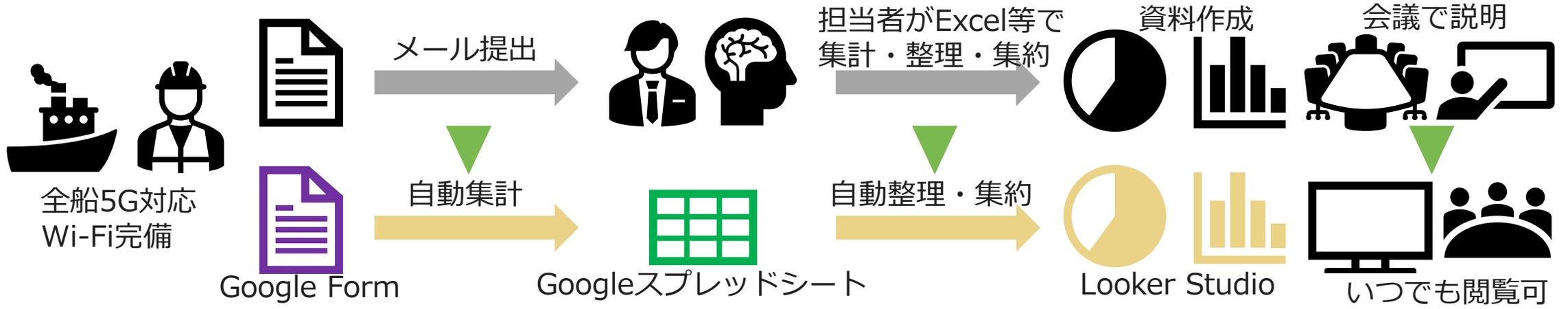
キャンペーン期間	副賞 (贈呈品)
2021年度 4Q	飲料、カタログギフト 計 約13万円 + 参加賞 約2万円
2022年度 上期	カタログギフト 計 約15万円
2022年度 下期	カタログギフト 計 約15万円



太平洋沿海汽船株式会社

# 3. 効率化のための取組

<b>取組手法</b>	Googleが提供する無料ツールをトライアルとして情報の集計・整理・集約に活用中。
<b>活用ツール</b>	Google Form、Googleスプレッドシート、Looker Studio（旧: Googleデータポータル）
<b>着想</b>	できるだけ費用をかけず、先ずはお試して、誰でも簡単に使えるものがよい。



**従来フロー** 各船から提出された報告書を担当者がExcelに転記し、水平展開用に資料を作成。報告書を受領してから「見せる化」が必要。

**めざすフロー(※)** 各船からGoogle Formで情報を収集し、集計・整理・集約を自動化。報告書が提出されたら即時「見える化」が可能。

※現在は未だ運用トライアル中のため、担当者が受領した報告書をGoogle Formに転記。

# 3. 効率化のための取組

2023年度 ヒヤリハット報告書 (一般編)

質問 回答 12 設定

事例の種類  
12 件の回答

- 軽微災害 (軽微な「負傷や損傷」等)
- ヒヤリハット
- 想定ヒヤリ、危険予知

ヒヤリハットの内容 (どこで、何をしていたときに、どのようにして、どうなったか/どうなる危険があるか)

12 件の回答

船尾にて LOパンカー終了後、パンカー船のホーサー外すと...  
ホーサーが張った際にボラードとアイの間に指を挟む恐れがあ...

東京港にて 出港作業中 新人乗組員がフェアリーダーにS字状にかかったヘッドラインを外そうとして 乗組員の立ち位置ではホーサーに弾かれる可能性があったのでその場で指導した。

Form回答内容が自動で集計・整理・集約され、データ(情報)がグラフ・一覧表に反映される。

2023年度ヒヤリハット

2023年度 ヒヤリハット報告書 (一般編)

期間を選択

ヒヤリハットの内容 (どこで、何をしていたときに、どのようにして、どうなったか/どうなる危険があるか) 今後の対策 (改善要望を含む)

- 船尾にて 緊急状態を継続していた時に 左舷のジャコプスラダー付近に垂れ下がっている物置場がロケットで、機室を突入し、機室の天井を突き破り、機室の天井の裏側に落下した。機室の天井の裏側に落下した物置場の落下の可能性がありヒヤリとした。(救助隊は機室から回収した)
- 船尾甲板にて入港時エアガンを使う際、力みすぎると銃口の向きによって、左舷のヘッドコンベンヤの下の機室にレットが当たりそうになる

2023年度 ヒヤリハット報告書 (一般編) 2022 データポータル

期間を選択

船名	R...	報告者名 (匿名...)	Re...
1. 暁光丸 (GKM)	23	8	8
2. 陸龍丸 (RRM)	18	4	4
3. パシフィックブリーズ (PBZ)	17	3	3
4. 昭量丸 (SHM)	10	3	3
総計	68	3	3

1-4/4

引き起こされる可能性がある事象	Re...
1. 火災・感電・火傷	6
2. 機械故障	5
3. 器物落下・飛来	5
4. 巻き込まれ	4
5. 転倒	4

1-35/35

不安全行動	R...	不安全状態	R...	管理上の問題	R...	自身の状態 (心身分析)	R...
1. 安全点検・確認の不足	24	1. 該当なし	17	1. 該当なし	32	1. 該当なし	9
2. 該当なし	12	2. 船内物自体の欠陥、整備不良	8	2. 一人作業、監視者の不在	9	2. 軽視していた、大丈夫だと思...	7
3. 作業手順の不遵守、誤り	6	3. 作業場所の欠陥、狭い、高所、閉所	4	3. 作業責任者の教育不足	7	3. 気が付かなかった	6
4. 安全ルールの無視	5	4. 作業環境の欠陥：強風、船体動揺	4	4. 作業責任者の教育不足、作業...	4	4. 軽視していた、大丈夫だと思...	4
5. 保護具の非使用・不適切	5	5. 使用した工具・用具が不適切	3	5. 作業責任者の監督不足	3	5. 危険を感じなかった	3

1-14/14

結果の重大性	R...	発生場所	R...
1. 軽度	30	1. 甲板	34

1-31/31

ヒヤリハットの内容 (どこで、何をしていたときに、どのようにして、どうなったか/どうなる危険があるか) 今後の対策 (改善要望を含む)

- 冷房の修理タンクで、薬品を投入した際に、薬品がはねて、皮膚に付着した。
- 秋田沖 船中、船尾船首デッキにてレット機室、レットを投擲した際、レットが当たって岸壁に落下した。岸壁と船尾機室の間に人的被害の可能性あり。
- 船尾にて 0.2D/E、TICプロットを操作中に作業に集中しすぎて、機室とレットの間の開口部を覗き込んだ。
- 機室側にてバラスト取り込み作業中 慌ててしまい停止するべきポンプを間違える操作ミスをした。
- 名古屋にて 右舷側、船体中の海水確認時 ジャコプスラダーから足を滑らせ 滑車に巻きこまれヒヤリとした。
- 大玉沖沖を横断向け航路中 横波を乗り越えて上甲板のグレーチングが

1-15/15

1-68/68

# 4. 取組の成果と課題

● 成果：

■ ヒヤリハット報告の件数が増加。  
些細な気づきも報告につながるようになった。

■ 乗組員の声、非常に好評。

- 「とてもモチベーションがあがる」
- 「副賞を家族が喜んでいた」
- 「このキャンペーンを考えた人、  
“社長賞”をもらっても良いよね！」

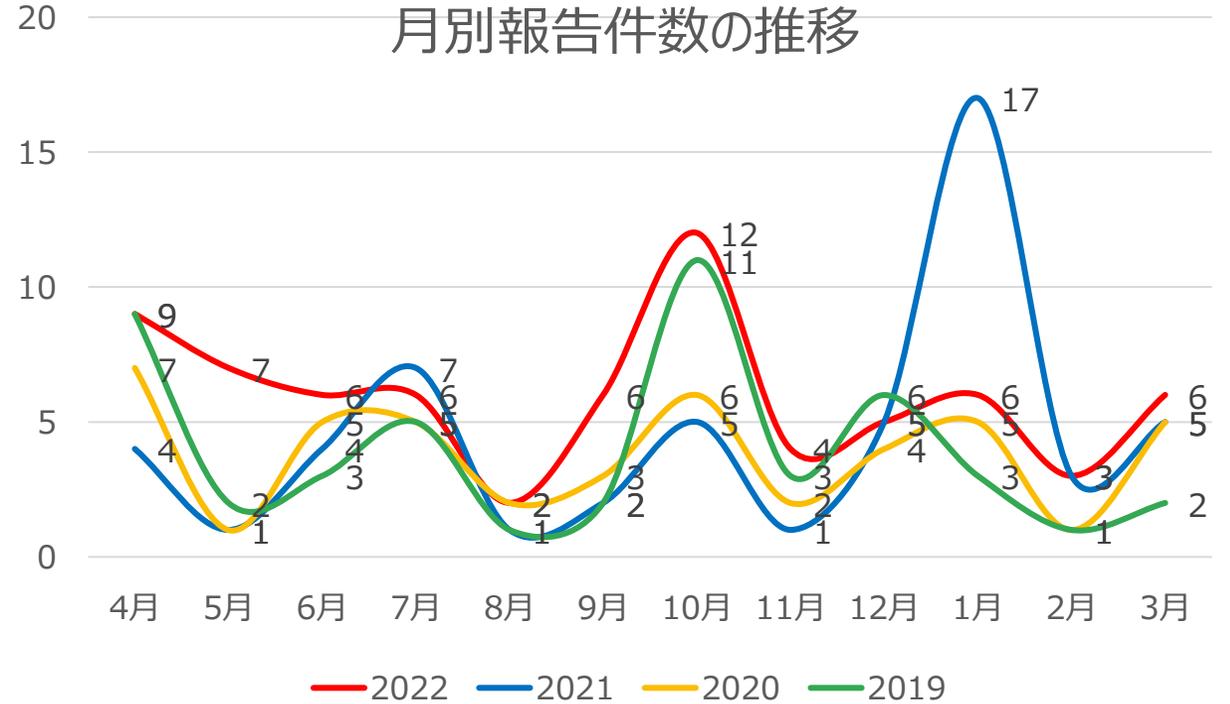
■ 離職率低下の一助にも？

(参考：過去5年間の採用者の定着率=92%)

● 課題：

□ 報告書の質の向上のための教育・指導

□ Googleのツール活用による自動化に向けた  
マニュアルと運用の見直し



年度	目標件数	報告件数	前年度比	備考
2019	—	48	—	
2020	60	46	△2 (△4%)	目標件数定めるも未達
2021	55	55	+9 (+19%)	内、4Qで25件
2022	60	72	+22 (+31%)	上半期・下半期でキャンペーン実施